

環境モデル都市の取組評価方法について

昨年度の環境モデル都市のフォローアップ方法の課題を踏まえ、環境モデル都市評価アドバイザーグループ(H23.2.17開催)において、次のとおり決定したところである。

ア 報告内容の追加について

- ・評価方法を見直すことに伴い、温室効果ガス排出量（アウトプット）報告の際に、施策の進捗によるアウトカム（外部影響、ベストプラクティスの創出、情報発信）についても報告する。

イ 報告スケジュールについて

（略）

ウ 評価方法（案）について ※評価指標の項目及び評点方法については、要検討事項。

- ・主に施策の進捗状況で行った SABC 評価を見直し、次の 5つの指標、A:施策進捗、B:温室効果ガス排出量・削減量、C:経済効果、地域活性化効果など外部影響、D:独自性のあるベストプラクティスの創出、展開、普及度合い、E:ホームページやシンポジウムの開催、多団体との連携などの情報発信を各々評価し、レーダーチャートで示す形に変更する。

上記に基づき、以下のとおり今年度の取組評価を行うもの。

1 評価方法

変更前

○FU報告書 ・取組の進捗

SABC評価

変更後

○FU報告書 ①取組の進捗（7月公表）

○自己評価（案） ①取組の進捗（点数評価）

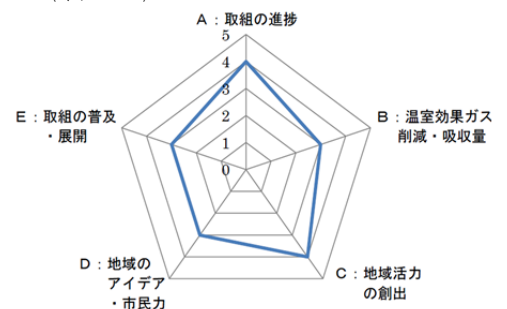
②CO2削減・吸収量

③地域活力の創出

④地域のアイデア・市民力

⑤取組の普及・展開

→ 5つの指標を5段階評価し、
レーダーチャートで表示
(イメージ)



2 評価の流れ

変更前

- ① 各都市から「FU報告書」を提出
- ② 内閣官房で内容確認（必要に応じて、修正依頼）し、評価（案）を作成
- ③ アドバイザーグループにて助言をいただき、評価を決定

変更後

（取組の進捗状況等5指標）

- ① 各都市から「自己評価（案）」を提出
- ② 内閣官房で内容確認（必要に応じて、修正依頼）し、評価（案）を作成
- ③ アドバイザーグループにて助言をいただき、評価を決定

【参考：スケジュール】

- ・ 10月24日（月） 各都市にアウトカム報告書の作業依頼
- ・ 11月30日（水） 各都市からの報告期限
- ・ 12月 報告内容確認、評価（案）、報告概要資料作成
- ・ 1月18日（水） 環境モデル都市評価アドバイザーグループ開催
- ・ 1月下旬 フォローアップ結果公表（予定）

【参考：5つの指標】

A：取組の進捗

FU報告書（7月公表）に記載の進捗状況結果を点数化し評価

B：温室効果ガス削減・吸収量

取組によって発現した温室効果ガスの削減・吸収量と、アクションプランに掲げる削減目標の達成への寄与度を評価

C：地域活力の創出

当該都市の持続的な発展に資する成果を評価

D：地域のアイデア・市民力

「地域のアイデア、特性を活かした取組」や「市民参加・市民力強化に資する取組」の先駆性、モデル性とともに、その取組の実施による成果を評価

E：取組の普及・展開

地域内外に普及・展開（他団体との連携も含む。）した成果を評価